



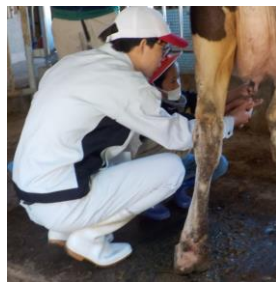
牛や馬にさわられたよ！ 幡多農業高校での体験学習に行ってきました

1月18日（木）、1・2年生が「牛や馬にふれあい、お世話をすることを通して、動物への関わりかたを体験する。高校生との交流を楽しむ。」ことを目的に、体験学習に行ってきました。前日までの天気予報では、雨が降るのではないかと心配していましたが、半分青空が見えるなど、穏やかな暖かい日になりました。

アグリサイエンス科（畜産）の3年生が、優しく丁寧に説明をしてくれたり作業の仕方をわかりやすく教えてくれたりしました。はじめは緊張した様子の子どもたちでしたが、搾乳体験や牛舎の清掃、堆肥づくりをしていくうちに、少しずつ緊張がほぐれてきました。この後、バターづくりや馬の見学・えさやりなども体験させていただきました。幡多農業高校には、敷地の中に豚舎や牛舎、厩舎、体験棟、畑などがありその広さにびっくりしました。作物の栽培や動物の飼育を通して、命の大切さや農業の果たす役割について学んでいる生徒さんの姿に、「幡多農業高校って、いいところだな」と感じた様子の子どもたちでした。



▲搾乳の仕方を教えてもらい、いざ実践。うまくしぼれたかな？



▲ペットボトルに入れた牛乳をよく振ると、液体と固体に分離します。固体がバターです。クラッカーにのせていただきました。



▲馬にも気性があるらしく、おとなしい馬にえさをやりました。



【感想】

- ・牛小屋の掃除って、こんなに大変なんだと思いました。
- ・牛の乳搾りは、思ったより（体温が）温かったです。
- ・バターをクラッカーにのせて食べると、おいしかったです。
- ・乳搾りは、牛の足で踏まれると思って怖かったけど、牛乳がびゅんと出て、手が牛乳まみれになりました。
- ・牛の乳は、ぶにぶにでした。
- ・馬のえさやりと、馬にさわれたので、楽しかったです。

※子どもの感想を抜粋し、漢字表記にしました。



【学校支援員 矢野川 研 先生】

6年生の算数は、小学校のまとめの学習内容となっています。スムーズに数学に移行できるよう、矢野川先生に指導をいただいています。1月中旬に7回、来ていただく予定です。スモールステップの指導のおかげで、子どもたちは、全員が課題を理解し、楽しい様子で算数の授業に取り組んでいます。



大用小学校では、一人一台端末を活用した授業やプログラミング教育に取り組んでいます。1月11日（木）、3～6年生が幡多情報エントランスセンターの浜田さん・安光さんのご指導により、プログラミング学習を行いました。3・4年生の教室では、「ロボホン」というロボットを使って、自己紹介や簡単な動きをプログラミングしました。ロボホンからはそれぞれが工夫した自己紹介が聞こえてきました。また、ロボホンに逆立ちや腹筋、ダンスの動きをさせるなど、楽しみながら学習ができました。



1月17日（水）阪神・淡路大震災から29年。市内の小中学校では防災給食の日でした。1・2年生の教室では、「このカレーおいしい！」と喜んで食べていました。私は、日頃の温かい給食に感謝するとともに、能登半島地震で被災された方や、支援されている方に思いを馳せました。早く、安心して生活ができる日が来ますようにと願っています。